

平成 26 年度新対策プラン推進校の実施報告について

南あわじ市・洲本市組合立広田中学校

1 25 年度の主な取組

- ・ルールブックの見直し、検討
- ・通知簿、指導要録の電子化
- ・会議の精選
- ・各分掌データの整理、引継ぎの徹底

2 26 年度の取組について

(1) 教職員の勤務時間適正化検討委員会の設置

名称：学校業務改善委員会

構成：校長・教頭・各学年主任

内容：毎月の運営委員会の中で、適宜協議

(2) 職員会議での主旨徹底と共通理解

毎月のノー部活デー、ノー残業デーについて、部活担当者会にて定期的に話し合いを持ち、職員全体での共通理解を図る。

(3) 具体的な取組

①ルールブックについて、検討、見直しをすすめる。

②生徒名簿のデータ化、共通名簿の作成

通知簿、指導要録の電子化

③校務サーバーの整理、個人メールの活用

・分掌フォルダ内の整理

・個人フォルダ

・個人アドレス全員取得

④会議の精選と会議時間の短縮

職員会議等については、事前に準備を進め、資料の事前配布や会議内容の予告により、大幅に会議時間の短縮が図られている。また、会議時間も最大 1 時間と設定し、協議できなかった議案については職員朝礼を利用することとした。

⑤校内グループウェアの活用

「グループ・ウォッチャー」の利用を実施し、全職員が学校行事、および個々の出張、年休等の動向を把握、確認できるようにした。(出張等、各自での入力)

3 成果と課題

○成果

計画的な勤務に対して少しずつ意識の向上が見られた。

○課題

定時退勤に対する職員の意識高揚、および、保護者への周知徹底